



発信年月日：令和6年7月 日

所属部課名	課長名	担当職氏名	連絡先	TEL:0837-22-3703 FAX:0837-22-3700
観光スポーツ文化部 スポーツ文化交流課	大迫 聡	文化財保護室 西原 秀卓		
件名	歴史講演会 「吉野ケ里遺跡－発見からこれまでの調査の歩み－」を開催します			

長門市総合文化財センター(ヒストリアながと)では、このたび、歴史講演会を開催することになりました。

平成元年の発見当初から国内最大規模の環濠集落である吉野ケ里遺跡の発掘に長く携われた講師をお招きし、35年間の調査を振り返るとともに、国内で4例しか出土していない「有柄細形銅剣(ゆうへいほそがたどうけん)」がなぜ、長門市油谷の王屋敷遺跡と吉野ケ里遺跡とともに発見されたのかの謎にも迫りたいへん興味深い講演会となっております。

参加者の募集告知及び当日の取材につきまして、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

- 1 開催日時 令和6年8月9日(金) 13:30~15:00
- 2 開催場所 ラポールゆや(長門市油谷新別名 833 番地)
- 3 講師 佐賀県文化・観光局文化財保護・活用室
副室長 細川金也(ほそかわ きんや) 氏
- 4 申込期限 7月31日(水)まで
- 5 問い合わせ・申し込み先
長門市総合文化財センター(ヒストリアながと)
〒759-4101 山口県長門市東深川2660番地4
TEL:0837-22-3703

※「有柄細形銅剣」について

把(つか)と剣身をひとつの型で铸造し、把頭(つかがしら)に触角形の突起がついているのが特徴で、出土することは極めて珍しく、本州では長門市のみとなっております。長門市の有柄細形銅剣は国の重要文化財に指定されています。

ヒストリアながと歴史講演会

長門市油谷
向津具王屋敷遺跡出土

2つの銅剣【有柄細形銅剣】の謎に迫る

佐賀県吉野ヶ里遺跡出土
(写真：佐賀県提供)

吉野ヶ里遺跡 (写真：佐賀県提供)

吉野ヶ里遺跡

～発見からこれまでの調査の歩み～

入場無料



佐賀県文化・観光局文化財保護・活用室

副室長 **細川 金也** 氏

専門 考古学（弥生時代）・保存修復（考古資料）

1967年 愛媛県宇和島市生（57歳）

1990年 國學院大學文学部史学科（考古学専攻）卒業

1990年 東京国立文化財研究所 修復技術部

1992年 佐賀県教育委員会文化財保護課 入庁

2015年 佐賀県立博物館

2021年 佐賀県文化観光局文化財保護室

「有柄細形銅剣」は弥生時代中期（約 2200 年前）に大陸から伝来したとされる青銅製の銅剣で、油谷向津具の王屋敷遺跡から出土し、国の重要有形文化財に指定されています。

この銅剣は把と剣身をひとつの型で鑄造し、把頭に触角形の突起がついているのが特徴で、国内で4例しか出土しておらず、本州では唯一の発見例です。

王屋敷遺跡と同形の銅剣が発見された吉野ヶ里遺跡（佐賀県）は、1989年（平成元年）に発見された国内最大規模の環濠集落で、現在まで毎年70万人を超える来場者があります。

今回、吉野ヶ里遺跡の発見当初から発掘に長く携わられた講師をお招きし、これまでの調査の歩みを振り返るとともに発掘調査成果を紹介します。また、極めて珍しい有柄細形銅剣が、なぜ長門市と吉野ヶ里遺跡でそれぞれ発見されたのかの謎に迫ります。

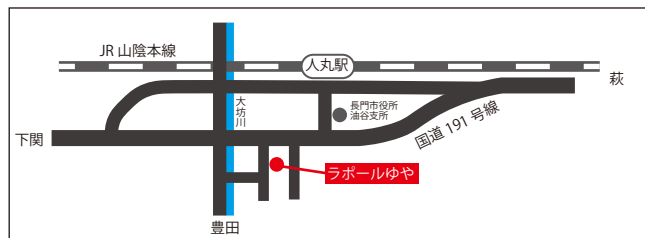
日時 **8月9日（金）**

13:30～15:00

（13:00 開場）

会場 **ラポールゆや**

〒759-4503 山口県長門市油谷新別名 833



お申込み・問い合わせ

ヒストリアながと



☎ 0837-22-3703

電話またはQRコードからお申込みください

申込締切：7月31日（水）